

CEM データベースをきれいにして下さい

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[一時間毎データをきれいにして下さい](#)

[Objectstore ジャーナルをきれいにして下さい](#)

概要

この資料に長期 Cisco エネルギー管理 (CEM) インストールのために PostgreSQL 組み込まれたデータベース (DB) を保存する方法をきれいになります記述されています。

背景説明

CEM は PostgreSQL データベースでアセットから収集されるデータを保存します。 DB は CEM とともにインストールされます。 長期の間 CEM を使用した後、多くのデータ gets はシステムがユーザによってもはや必要とされるかもしれない DB で保存しました。

やがて、これによりそれがであるディスク領域の使用率およびパフォーマンスの一般に影響ある DB は非常に大きくなりますかもしれません。 この資料はきれいな状態で少数のバッチ スクリプトのか実行によって DB をどのようにの保存できるか理解を助けます。

問題

CEM に、前のバージョン 5 からの、独自に一掃メカニズムがありません、従ってそれは手動でクリーンアップします DB を定期的によいかもしれません。 ここに見つけることができる一括ジョブ例は Windows の定期タスクと定期的に行うことができます。

解決策

一時間毎データをきれいにして下さい

CEM は (一時間毎に、毎日、月例、年次) 定期的に収集したデータを集約します。 より古い原始データを削除することは可能性のある (たとえば一時間毎に)、それこの詳細レベルがユーザにもはや関連していない期間より古いです。 データがより古ければ DB で詳細なデータを保存するために、より少なく関連するようにそれはなります。

この一時間毎データを削除するとき、データが削除されることそれが期間の一時間毎細かさの Generate レポートにもはや可能性のあるではないことです。 それは必要によって、通常これではないですより古いデータのための問題決まります。

この操作を行うのにこのスクリプトを使用できます:

```
@echo off
REM ++++++ CONFIG ++++++
REM set days to keep hourly data
set KEEPDPAYS=365
REM set password for DB auth
set PGPASSWORD=zzzzzzzzz
REM set tenant id
set tenant=t_XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
REM set psql.exe location
set pgbin="C:\Program Files (x86)\Cisco Energy Management\pgsql\bin"
REM ++++++ END CONFIG ++++++

REM list of metric suffixes
set suffixes=(power,carbon,devicestatus,power_cost,powerdemand,utilization)
REM get current date/time for logfile
for /f "delims=" %%# in ('powershell get-date -format "{yyyy-MM-dd_HH-mm}"') do @set
logtimestamp=%%#
REM calculate oldest date that should be kept in DB
for /f "delims=" %%# in ('powershell get-date -date "$(get-date).adddays(-%KEEPDPAYS%)" -format
"{yyyymmdd}"') do @set dbdate=%%#
echo Starting hourly data cleanup on %logtimestamp% >%logtimestamp%.txt
REM remove tmp file if it exists already
if exist %TEMP%\cemsCleantmp.txt del /f %TEMP%\cemsCleantmp.txt
REM find and store tables that need to be deleted in tmp file
for %%s in %suffixes% do (
%pgbin%\psql.exe -q -t -A -w -U postgres -d cloud -c "SELECT table_name FROM
information_schema.tables where table_name < 'd%dbdate%_%%s' AND table_name LIKE
'd2%_%%s';">>%TEMP%\cemsCleantmp.txt
)
REM drop that table
for /f "tokens=" %%t in (%TEMP%\cemsCleantmp.txt) do (
echo -- dropping table %tenant%.%%t>>%logtimestamp%.txt
%pgbin%\psql.exe -w -U postgres -d cloud -c "DROP TABLE IF EXISTS %tenant%.%%t
CASCADE">>%logtimestamp%.txt 2>&1
)
REM clean tmp file
if exist %TEMP%\cemsCleantmp.txt del /f %TEMP%\cemsCleantmp.txt
REM end logfile
for /f "delims=" %%# in ('powershell get-date -format "{yyyy-MM-dd_HH-mm}"') do @set
endtimestamp=%%#
echo Finished hourly data cleanup on %endtimestamp% >>%logtimestamp%.txt
```

スクリプトの最初の一部は環境に合う必要があります。これらの値は変更する必要があります:

- KEEPDPAYS: 一時間毎データが保存するはずであること日数 (たとえば: KEEPDPAYS=365 は 1 年間一時間毎詳細を保存し、年より古い一時間毎詳細を削除します)

- PGPASSWORD: データベースのための postgres ユーザ パスワード

-借用者: このインストールに使用する借用者 ID (EnergyWiseProcessor.log で見つけることができます)

- pgbin: PostgreSQL バイナリのインストール場所

Objectstore きれいなジャーナル

CEM objectstore は CEM および最新のステータスのために関連したすべてのオブジェクトが含まれています。履歴を検知し、前の時点へのすべてのオブジェクトのステータスを監査してまた更

に戻れます、CEM は objectstore でオブジェクトで実行されたすべての操作のジャーナルを保存します。この情報は役立ちますが、一定時間にわたりより少なく関連するようになります。一時間毎詳細と同様に類似した、ジャーナルの古いエントリをクリーンアップすることが得策です。

この操作を行うのにこのスクリプトを使用できます:

```
@echo off
REM ++++++ CONFIG ++++++
REM set days to keep journal data
set KEEPDPAYS=365
REM set password for DB auth
set PGPASSWORD=xxxxyyzzz
REM set tenant id
set tenant=t_xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
REM set psql.exe location
set pgbin="C:\Program Files (x86)\Cisco Energy Management\pgsql\bin"
REM ++++++ END CONFIG ++++++

REM get current date/time for logfile
for /f "delims=" %%# in ('powershell get-date -format "{yyyy-MM-dd_HH-mm}"') do @set
logtimestamp=%%#
REM calculate oldest date that should be kept in DB
for /f "delims=" %%# in ('powershell get-date -date "$(get-date).adddays(-%KEEPDPAYS%)" -format
"{yyyy-MM-dd}"') do @set dbdate=%%#
echo Starting jx_objectstore_journal cleanup script on %logtimestamp% >%logtimestamp%.txt
REM clean journal
%pgbin%\psql.exe -w -U postgres -d cloud -c "DELETE FROM %tenant%.jx_objectstore_journal where
start <= '%dbdate%' " >>%logtimestamp%.txt 2>&1
REM end logfile
for /f "delims=" %%# in ('powershell get-date -format "{yyyy-MM-dd_HH-mm}"') do @set
endtimestamp=%%#
echo Finished jx_objectstore_journal cleanup script on %endtimestamp% >>%logtimestamp%.txt
```

スクリプトの最初の一部は環境に合う必要があります。これらの値は変更する必要があります:

- KEEPDPAYS: objectstore ジャーナル データが保存するはずであること日数 (たとえば: KEEPDPAYS=365 は 1 年および年より古い削除ジャーナル データのジャーナル データを保存します)

- PGPASSWORD: データベースのための postgres ユーザ パスワード

-借用者: このインストールに使用する借用者 ID (EnergyWiseProcessor.log で見つけることができます)

- pgbin: PostgreSQL バイナリのインストール場所

これらのスクリプトを定期的に行う場合、それは健全な状態で DB を保存し、ために確定的にパフォーマンスを改善して下さい (たとえば: autovacuum 速度は、カタログ...要求します)。